

調査管理番号・案件名
25a00104 アンゴラ国初等教育に係る情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランブサム型))

質問と回答は以下のとおりです。

2025年4月25日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	9	入札説明書 第2章 特記仕様書 第1条 調査の背景・経緯	「2024年度より国別研修「初等教育の質向上」を実施し、教育省関係機関の能力強化に取り組むことにした。」との記載がありますが、本調査において実施予定のワークショップ対象者と、2025年度国別研修「初等教育の質向上」の対象者が重なる可能性があるため、調査設計の参考とさせていただきたく、同研修の実施予定時期、対象者、主な研修内容についてご教示いただけますでしょうか	2025年度の国別研修の詳細についてはアンゴラのカリキュラム改訂の進捗を踏まえて検討予定ですが、現時点では教員用指導書作成にかかる技術支援の一環として2025年12月頃の実施を予定しております。対象は第一回同様、算数カリキュラム改訂作業チームのメンバーが中心となる予定です。
2	10	第2条	対象地域や関係/CP機関が明示されていませんが、プロポーザルでは具体的な地名や機関名の記載は不要ということでしょうか？	具体的な対象地域は未定のため、地名の記載は不要です。現地調査前にアンゴラ教育省と打合せの機会を設けさせていただき、協議、決定できれば幸いです。また、改訂の実施体制や関係機関についても調査いただくことを想定しているため、具体的な機関名の記載も不要です。
3	10	「小学校算数教育を中心に」 「小学校算数科を中心に」 「算数・数学科を中心に」	度々「中心に」という言葉が使われておりますが、これは他教科も含むという意味でしょうか。そうであればどこまでを想定されているのかご教示いただけますでしょうか(理科も一部含むなど)。	教育制度や教育方針等、基本情報に関しては算数に限らず収集いただくことを想定しておりますが、カリキュラム改訂プロセスにかかる調査については算数のみを対象としていただくことを想定しています。
4	11	脚注5 全国学力テスト報告書を分析し、なるべくアンゴラ国の平均的な学力レベルを有している学校を対象校として選定すること。	全国学力テスト報告書では5年生と8年生の総得点の平均(とスキルごとの正答率)が示されていますが、左記のとおり学校選定を行う場合には学校別のデータが必要になるかと思われます。こうした詳細情報は現地で入手可能でしょうか？	配布資料とした全国学力テストの結果については引き続き照会中ですが、アンゴラ教育省より6、9、12年生の修了(進学)試験の問題及び州別の結果等が掲載されているウェブサイトの共有がありましたので適宜ご参照ください。 https://inade.gov.ao/news/list/25 学校別のデータについても現在アンゴラ教育省に照会中です。

5	11	第4条(2)	2ポツ目に「その際、前述の全国学力テスト報告書を分析し、地域間格差の程度を確認し、首都圏との格差度合いにより調査対象サイト(首都から日帰り圏内の他州の学校(農村部、都市部1校ずつを想定)を決定する。）」とありますが、上記報告書を見たところ、各州での児童の参加率(%)のデータはあるものの、成績データの記載は無いように見えますが、同報告書のAnnexなどには記載があるのでしょうか？	全国学力テストの問題や詳細結果等の情報は現在アンゴラ教育省に照会中ですが、6、9、12年生の修了(進学)試験の問題及び州別の結果等が確認できるウェブサイトの情報提供がありました。 https://inade.gov.ao/news/list/25
6	12	入札説明書 第2章 特記仕様書 第4条 調査の内容 (4)上記(3)のパイロット活動を実施する教育省の業務プロセスに随伴し、アンゴラ算数教育人材の能力向上ニーズを明らかにする。	アンゴラ国においては、現地カウンターパートとの活動において、日当・宿泊費を求められることがある様に伺っています。本調査で実施予定のワークショップにおいて、参加者等(主に、現地カウンターパート)への日当や宿泊費は、提案時の見積書に計上すべきでしょうか？もし計上が必要な場合は、その金額の目安についてもお教示いただけますと幸いです。	教育省で開催する場合は参加者に対する日当・宿泊費は不要ですが、終日開催の場合は昼食代をご計上ください。
7	12	第4条(3)	調査項目で「パイロット活動詳細」に記載のある「ZIP研修の活用状況」は、カリキュラム・指導書普及に向けたZIP研修の活用状況を調べるという理解であっておりますでしょうか？	パイロット活動におけるZIP研修の活用状況について調査いただくことを想定しています。新カリキュラムの普及にかかる活用については、特記仕様書第4条(4)の最後の項目をご参照ください。
8	13	第4条(4) 上記の課題に対してどのような投入でどのくらいの能力向上が見込めるかを分析するため、教育省技官の指導書執筆能力を向上するため必要な支援・投入を分析するため、指導書の新たな章(数と計算領域以外が望ましい)を執筆するために必要な技術支援を実施し、指導書の執筆を通して、技術移転の適切な手法を検証する。	文章の意図は、「上記の課題を踏まえ、指導書の新章(数と計算領域以外が望ましい)執筆に向けた技術支援を行う。またこの技術支援を通じて、教育省技官の指導書執筆能力向上のために必要な投入および適切な手法、ならびに投入に対する効果の分析も行う。」ということでしょうか？	ご理解の通りです。
9	13	脚注9	本文では「現地調査時(2025年9月～)には、2025年度の小学校6年生算数の第2学期分の教師用指導書を教育省技官が開発中である。…同指導書の改善を目指し、彼らの執筆したドラフトをお互いに発表して改善しあうワークショップを計画実施する」とある一方、脚注では「特に「5年生の教員用指導書」をベースとして、質の高い教師用指導書にするためのワークショップの計画例を技術提案書で提案すること」とあります。これは「出来の良い5年生指導書に倣って6年生指導書を改善せよ」という意味と受け取ってよろしいでしょうか？	実際の調査活動時に対象となるのは本文記載のとおり小学校6年生の教員用指導書ですが、未作成のため、現時点では活動を提案いただくことができない状況です。そのため、脚注のとおり、既にアンゴラ教育省が作成し、試行中である小学校5年生の教員用指導書を改善する想定(仮定)で、ワークショップの内容等を検討し、ご提案ください。

10	13	第4条(4)	・2種類のワークショップを実施する可能性があり、事前質問表では、会場は「教育省会議室」との回答がありました。こちらは会場費がかからないという認識でよいでしょうか。 ・また、事前質問表に「参加者は主に教育省職員や現職教員を含むカリキュラム改訂作業チームのメンバー10～20名程度を想定」と記載がありました。ルアンダ州外から参加する可能性もありますでしょうか。 ・研修参加者に対して日当・宿泊・交通費を支払う必要がございますでしょうか。必要であれば、可能な範囲で金額もご教示いただけますとい幸いです。 (formsからの質問だと10点までしか送ることができなかったため、本項目に質問をまとめています。)	教育省会議室の会場費は不要です。 参加者に対する日当・宿泊費及び交通費は不要ですが、終日開催の場合は昼食代をご計上ください。
11	15	提案を求める内容#1 カリキュラム・教科書改訂プロセスの分析方法→「カリキュラム・教科書改訂プロセスを中心とした現状調査項目と調査手法」	途中の「→」は何を意味しているのでしょうか？	申し訳ございません。修正漏れです。提案を求める内容1は正しくは矢印以降の「カリキュラム・教科書改訂プロセスを中心とした現状調査項目と調査手法」です。

以上